

和歌山城天守閣を通して街について考えよう！～国宝和歌山城木造復建の会～

和歌山市のシンボルである和歌山城。今年天守閣再建 60 周年ということで盛り上がりを見せています。市民に親しまれているお城を、木造建築にできないかと呼びかけることを通して街づくりについて考えている市民活動団体、「国宝和歌山城木造復建の会」代表の白樫啓一さんにお話を聞きました。

天守閣の老朽化により 思ったことは…
戦後、和歌山城の天守閣は燃えにくい素材として、コンクリート建築で復元された歴史があります。今年でこの天守閣は築 60 年を迎えます。60 年は一般的に鉄筋コンクリートの寿命といわれます。南海トラフ大地震の確率が年々高くなるなか、「耐震」についても慎重に対応しなければならぬ時期がきています。修繕することで、あと 20 年維持できるのでは、という話も出ているようですが、抜本的な天守閣の建て替えについても考えていかなければいけないという課題も出てきています。

白樫さんたちは、仲間のみならず、市民のみなさんとともに、天守閣を木造にした際の可能性について話す機会が増え、有志があつまり、街づくり

について勉強する「国宝和歌山城木造復建の会」を結成しました。熊本城や姫路城などの木造天守閣などをみても、木造建築は時間が経つと文化的価値が高まり、市民の誇りとして街づくりの中心と考えられています。また木造の場合、初期コストは高くなるものの、修繕を繰り返すことで建物の寿命を可能に限り伸ばすことができるメリットもあるそうです。名古屋城ではすでに天守を木造で建設することが決定しています。

現在、和歌山城内御殿の木造の復元も計画されていますが、シンボルである天守も木造になれば、街はどう変わるか、戦前の木造の天守が国宝であったように、今以上に和歌山市民の誇りとなるのではと思ったりしています。



▲大正期の天守閣を南西方向からみた写真

現在の天守閣をバックにメンバーのみなさん



な情緒や風情のあるまちづくりの機運が高まれば、と和歌山城の周りを歩いて勉強会をしたり、市民会館でシンポジウムなどを開催したりしています。シンポジウムは 280 名あまりの方の参加があったのだから。
「天守を木造に、という思いだけでなく、その議論を投げかけることで、和歌山城を



勉強会の様子。和歌山城や和歌山の文化についての学習もおこなわれています

国宝和歌山城木造復建の会
情報発信は Facebook ページで実施中。検索サイトで「国宝和歌山城木造復建の会」と検索してください。
<https://www.facebook.com/wakayamajou2016/>

みんなで守ろう！日本の希少生物種と自然環境 SAVE JAPAN プロジェクト 2017-2018 ケン先生と行く！ 和歌の浦自然体験ツアー

参加者募集のご案内

和歌浦の干潟は、関西でもっとも広い干潟といわれています。とてもめずらしい生物がたくさん暮らしている、貴重な環境です。実はこの干潟は、500 年以上前の大洪水や津波によってつくられたといわれています。いまわたしたちが貴重な生きものをたくさん観察できるのは、昔の大きな災害によって地形が変わったことも原因のひとつなのです。

今回は、貴重な生物を観察したあと、わたしたちの生活と生きものが暮らす環境、そして災害について学びます。

- ◆開催日 7月14日(土) 10:00～16:00 (荒天中止)
- ◆集合 和歌浦干潟(観海閣付近)
- ◆参加費 無料ですが、昼食は各自ご準備ください。
本事業専用駐車場はございませんので近隣の有料駐車場をご利用下さい。アートキューブの駐車場は午後のみご利用いただけます。小学生以下のお子さんは保護者の方と一緒にご参加下さい。大人のみの参加も可能です。



- ◆内容
午前 和歌浦干潟で生きもの観察
和歌浦干潟には「ハクセンシオマネキ」や「トビハゼ」など珍しい生きものがたくさん！探してみましょ。
- 午後 和歌の浦アートキューブでワークショップ
貝殻など自然にあるものを使った工作、新聞紙スリッパづくりなど大きな災害が起こった時に役に立つ工作、地震体験など、自然と災害について学びます。
- 14日雨天時は午前中のプログラムを7月15日同時刻に延期し、14日13時から、和歌の浦アートキューブでのワークショップを開催します。
- ◆お申込み
ウェブサイトからお申し込みください <http://savejapan-pj.net/>
※「SAVE JAPAN プロジェクト」で検索ください。「イベントを探す」→「関西」→「和歌山県」から申し込みページへリンクしています。必要事項を記載の上、お申し込みください。
※いただいた個人情報は傷害保険付与と本事業に関する諸連絡等の用途にのみ用います。
- ◆SAVE JAPAN プロジェクトとは
「SAVE JAPAN プロジェクト」とは全国各地の「いきものが住みやすい環境づくり」を行うプロジェクト。環境 NPO や NPO 支援センター、日本 NPO センター、損保ジャパン日本興亜が協働で、市民参加型の体験イベントを開催します。イベントのご案内や、開催報告などをサイト (<http://savejapan-pj.net/>) に掲載していますので、ぜひご覧ください。
本プロジェクトは損保ジャパン日本興亜からの寄付で実施しています。自動車保険等のお客さまに、ご契約時「Web 証券」や「Web 約款」を選択いただいた場合や、自動車事故の修理時にリサイクル部品などを活用いただくことにより、環境 NPO などへ寄付を行うものです。
- ◆主催
わかやま NPO センター、特定非営利活動法人と自然とまちづくりとお問い合わせはわかやま NPO センター (info@wnc.jp) までお願いします。



みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

- ふおすた〜サロン
保育士として再就職を検討されている方の意見交換の場です。
集合 7月4日(水) 10:00～11:00
場所 和歌山ビッグ愛
対象 保育士資格を持っている方
参加費 無料(申し込み必要)
締め切り 7月2日(月)
問い合わせ・申込み 和歌山県福祉人材センター・ハートワーク (073-435-5211)
- 和歌山城で学ぶ城郭ゼミナール「普請編」
和歌山城を歩きながら全国の城郭との比較において和歌山城を学びます。
日時 7月7日(土) 9:50～15:00
集合場所 南海和歌山市駅 9:50
講師 水島大二さん、渡瀬敏文さん
参加費 無料(申し込み必要)
問い合わせ・申込み 南海電鉄和歌山支社 (073-433-1285)
- 和歌山県世界遺産の日記念講演会「宇宙と熊野と粘菌と」
帝京大学が「粘菌」を H2A ロケットに搭載したのはご存知ですか。熊橋が研究した粘菌が宇宙に行く時代。ユネスコ憲章前文「戦争は人の心の中で生まれるものであるから人の心の中に平和の砦を築かなければならない」を再確認しませんか。
日時 7月8日(日) 14:00～17:00
場所 南方熊楠記念館(白浜町)
講師 久保田弘敏さん(帝京大学名誉教授)
参加費 無料
主催 「熊野古道」を世界遺産に登録するプロジェクト準備会
備考 ウェブサイトをご覧ください (<http://www.kumako1997.com/>)
- かじか荘流しそうめん
奈良県野迫川村で丹精込めて作られた野迫川そうめん(三輪そうめん)を使用します。
日時 7月15日から8月19日までの日曜祝日、お盆(11日～15日)の11:00～15:00
場所 美里の湯かじか荘
参加費 中学生以上 800 円、3歳以上 400 円、そうめん以外のサイドメニューは別料金
問い合わせ 美里の湯かじか荘 (073-498-0102)
備考 8月5日は鮎のひっかけ釣りもあります

このほかの情報もたくさん掲載!
「わかやまイベントボード」
URL <http://eventboard.shiminjuku.jp/>